

## 長谷川鉄工(青森)が工場訪問 DX化、ペーパーレス化を学ぶ 小室鉄建(東京)

青森県のMグレードファブ、長谷川鉄工(長谷川陸社長)とSAKURA・SOLUTIO N(長尾大祐社長)の社員、東京鉄構工業 協同組合・青年経営者委員 会(会長 池田和隆・池田鉄工社長。以下、東構協青年部)有志の計14人は1月28日、東京都のMグレードファブ、小室鉄建・美山工場(東京都八王子市、小室健太社長)を訪れ、工場見学を行った。

今回の見学会は長谷川社長が小室社長と面識のある

青森県のM

グレードファ

ブ、長谷川鉄

工(長谷川陸

社長)とSA

KURA・S

SOLUTIO

N(長尾大祐

社長)の社員、

東京鉄構工業

協同組合・青

年経営者委員

会(会長 池田和隆・池田

鉄工社長。以下、東構協青

年部)有志の計14人は1月

28日、東京都のMグレード

ファブ、小室鉄建・美山工

場(東京都八王子市、小室

健太社長)を訪れ、工場見

学を行った。

長尾社長から「小室社長の

取り組みは非常に先進的」

との話を聞き、自社のDX

化を進めるため社員に勉強

してもらおうと実施したも

の。訪問に際し、以前から

交流がある東構協青年部も

相乗りする形で参加した。

小室社長はまず、自社の

経営理念や方針を紹介。タ

ブレットを従業員全員に貸

与し、図面をはじめとした

情報を常に事務所と現場で

共有することでペーパーレ

ス化を果たし、誤作防止と生

産性向上につなげている事

例を紹介。特にベテラン技

能者からの理解を得るまで

の苦労を語った上で、

「従来の方法で問題な

い」という意見は必ずあり、

その人にとって楽な方を選

択する。だから、やると決

めたら紙図面との併用など

はせず、一気に徹底してい

くことが重要」とアドバイ

スした。

続いて、工程や原価、出

来高、勤務状況といった経

営に関する管理業務をプロ

ジェクト管理ソフトで一括

管理する取り組みを紹介。

業務内容によってポイン

トを設定して従業員の作

業量を定量化、目標設定

や給与評価などに活用し

ている事例を披露した。

その後、一行は工場に

移動し、実際に従業員が

タブレットを活用してい

る様子を見学。見学後の

意見交換では、小室社長

から「これまで異業種や

同業のファブが見学に来

てくれたが、ペーパーレス化

がうまくいかなかったとい

う声が多い。ペーパーレス化

という手段を目的化してい

ることが原因だと思う。会

社のビジョンを明確にし、

強くイメージすることで、

本来の目的である改革を途

中で諦めずに進めることが

できた。私の会社でできる

ことがあれば協力してい

きたい」と述べた。

最後に長谷川社長は、

「DX化で社内コミュニ

ケーションが薄くなるかと

思ったが、そうではないよ

うだ。今日は大変勉強にな

った。わが社でもタブレッ

トを社員に貸与してペーパ

レス化を進めていく」と謝

辞を述べた。



小室社長の話聞き入る一行